

平成29年度 3月号	久松だより	 No.680 ☎ 03(3661)6016
	中央区立久松小学校 校長 酒井 寛昭 http://www.chuo-kyu.ed.jp/~hisamatu-es/	

平成29年度の年度末にあたり

校長 酒井 寛昭

今年、例年に比べいつまでも寒い日が続き、玄関脇の沈丁花のつぼみも固いままで。平成29年度も残すところわずかとなりました。保護者、地域の皆様の御理解と御支援のおかげで、開校145周年の多くの記念行事をはじめ、本年度の教育活動を終えることができますことに、心より感謝申し上げます。きっと子どもたちの心に残る一年となったことと信じています。



さて、学習指導要領の改訂に伴い、新教育課程の移行の年度がいよいよ4月から始まります。学習・指導の内容は、一部変更はありますが、今回の改訂では、「どのように学ぶか」という方法について大きな変更があります。久松小学校では、小集団活動を核に、これらについて先行する形で授業改善に努めてまいりました。一方、すでに御案内の通り、高学年の英語と道徳の教科化などに伴い授業時数の増加があり、土曜授業も中央区では、年間10回以上となります。英語については、低・中学年も毎週1時間となり、高学年は、毎週2時間となります。より一層の充実をめざし、しっかり準備したいと思っています。

今年度も周年記念行事・研究発表会・出前授業・他地域からの学校訪問など多くの方々に御来校いただき、豊かな、そして本物の体験を重ねることができました。来校された多くの方々が、久松の子どもたちは、「明るく元気で礼儀正しく、話し合いが上手ですね」とおっしゃってくださいました。大変うれしく思います。これは、日頃の家庭・地域の皆様のおかげです。改めて感謝申し上げます。



開校145周年記念講演会 着国来関他

周年の記念の年に、下級生をリードしてくれた6年生の卒業、そして全員の修了とそれに関わる全ての皆様に改めて感謝し、締めくくりにふさわしい日々をしたいと思っています。

※ 平成30年度の夏休みに屋上のフェンスを高くして、ネットを張り、体育等でボール遊びもできるようにする予定です。

※ 平成30年度より、給食が自校方式となり、行事食などがよりよくなります。アレルギー対応も含め、少し和食系を多くする予定です。

3月の生活目標 …… 1年間を反省し、次の学年の準備をしよう

木々の芽が少しずつ膨らみ、春の気配を感じる季節となりました。子どもたちにとって、3月はこの1年のまとめや復習をする時期です。まだ不十分なところをしっかりと見つめて、4月の進級・進学に備えてください。そして、お子さんの大きな成長を認め、褒めてあげてください。1年間過ごした教室と友達に感謝すると共に、子どもたちが新しい学校や学年に大きな希望と夢を抱いて歩んでいけるよう、見守ってまいりたいと思います。

◎ 週の重点目標

- 第1・2週（1日～9日）・・・係の仕事をしっかりしよう
- 第3週（12日～16日）・・・学級や学校の用具を整えよう
- 第4週（19日～23日）・・・身のまわりの整理整頓をしよう

(南村)

6年生を送る会

2月28日(水)に「6年生を送る会」が開かれました。この会は1～5年生が、今まで学校生活の様々な場面でお世話になった6年生に感謝の気持ちを表すものです。

代表委員が6年生の名前を一人一人呼び、6年生は堂々と入場しました。1年間、兄弟・姉妹ペアで仲良く過ごしてきた1年生は、自分のペアのお兄さん・お姉さんの名前が呼ばれ、顔を見ることができると、嬉しそうな、誇らしそうな顔を見せていました。

その後、各学年から歌や踊り、劇などの出し物が行われました。最高学年として様々なところでリーダーとなり活躍してきた6年生への感謝や憧れの気持ち、卒業をお祝いしようとする気持ちなどを精一杯伝えようとする下級生の姿に、6年生はこの上ない優しい表情を見せていました。

出し物に加え、4年生は花のアーチをつくり、5年生は体育館のギャラリーを装飾して会場を盛り上げました。1～3年生は、手づくりのプレゼントも準備して6年生に渡しました。最後には、6年生からお礼の言葉と、「地球星歌」の合唱や「剣の舞」の合奏のプレゼントも用意されていました。美しい歌声とテンポの速い圧倒されるような演奏。そして何よりも6年生の立派な姿を見て、下級生は改めて憧れの気持ちを強くしたかのようでした。

このように、今年の6年生を送る会も、みんなで力を合わせて創り上げられたことにより、誰もが笑顔になれる、心温まる会となりました。

卒業を迎えるこの季節は寂しさもありますが、このような行事を通して、子どもたちの心がより豊かになり、また一つ成長できる時なのかも知れません。

(鈴木)



春休みの生活

進級・進学する春休みは、子どもたちにとって期待と少しの不安が入り混じり、他の長期休業とは少し違った感じかもしれません。春休みは、一年間を振り返り、新しい学年に向かって具体的な目標を立てるよい機会です。御家庭でも来年度に向けての目標など話し合ってみてください。

また、この時期はややもすると子どもたちの気が緩み、思わぬ事故に巻き込まれることがあります。学校では子どもたちに、「命は自分で守る」ことへの意識を高めるようにすることをはじめとして、安全と健康に関する内容について各学級で指導していきます。是非、御家庭でも年度末に配布します「春休みの過ごし方」を見ながら、安全で楽しい春休みの過ごし方について各家庭での約束等を話し合ってくださいと思います。



一年間の成長を親子で振り返り、子どもたちが新たな希望をもって始業式・入学式を迎えられるよう充実した春休みをお過ごしください。☆保護者、地域の方々をはじめとした皆様、登下校等、本校児童の安全を見守ってくださり本当にありがとうございました。見守られ支えられてこの一年間を無事に過ごすことができました。

次年度もよろしくお祈りします。

(松村)

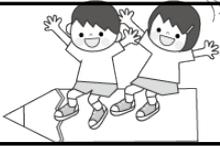
地域理解

中学年の総合的な学習の時間や社会科で学習する「地域理解」は、地域の産業や消費生活の様子、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにすることをねらいとしています。

今年度3年生は、社会科の学習で横山町・馬喰町問屋街を見学させていただきました。横山町・馬喰町問屋街は歴史が古く、江戸時代から営業を続けている老舗もあります。横山町奉仕会の皆様に御協力をいただき、初めに問屋街の歴史や仕事内容についてのお話を伺った後、実際にお店の中を見学させていただきました。事前に社会科の副読本を使って学習していましたが、子どもたちは、それぞれの専門店扱う品物の種類と数の多さに驚き、日本一の問屋街が学区内にあることを改めて実感していました。

総合的な学習の時間「わくわく久松」では、「日本橋のとおき、名人をさがせ！」という単元を設定して、この地域で調べてみたい場所（お店や施設など）を決め、見学に伺いました。学区内には江戸時代から続く伝統工芸店や老舗と呼ばれる有名店などが数多くあることを知るとともに、「技を極める」「伝統を守る」というキーワードのもと調べ学習を進めることで、人々の仕事に対する思いや願いに触れ、子どもたちにとって何よりの学習になったと思います。お仕事中にも関わらず、子どもたちの質問や写真撮影にいてねいに応えてくださる地域の皆様の姿に、改めて江戸の下町ならではの粋な心遣いと温かさを感じました。

本校の教育活動に御協力いただきました地域の皆様に、心より御礼申し上げます。 (大沢)



卒業に向けて

「卒業まであと〇日」の日めくりがどんどん薄くなってきました。毎日それを見る度に、卒業式が近付いて来て、寂しさが増すのを感じます。今日（3月1日）で卒業の日まで、あと15日です。

先月16日には、これまで頑張ってきた委員会、ブラスバンド、校旗の引継ぎ式が行われました。久松を担うそれぞれの仕事が、全て5年生に引き継がれたということになります。1年間、責任をもって活動してきた自信に溢れる姿。よりよい久松小学校を目指して、新しい一歩を踏み出してほしいと願う思い。緊張感の中にも6年生の思いが下級生にしっかりと伝わる会となりました。一人一人が失敗を繰り返しながらも、意欲と責任をもって活動してきたことをとても誇らしく思いました。

また、今月6日には、「謝恩会」が開かれます。この行事は、今まで支え、育てていただいた、自分たちの周りの方々、家族、地域の方々、学校に関わる方々に感謝の気持ちを表す会です。今、どのようにして気持ちを表現しようかと話し合いながら練習に励んでいるところです。練習の中でも、子どもたちの優しい心が伝わってきて、嬉しくなることがあります。全員がそれぞれの役割に励んでいる姿を見ると、様々な場面や子どもたちの表情が思い出されて、目頭が熱くなります。

4月からは中学生。新たな社会へと旅立ちます。「スクラム」組んで、素敵な「ハーモニー」を奏でつつ、残りの日々を「Bravi（すばらしいという意味）」に過ごし（「」はこれまでの学年通信の名前です）、誰もが心豊かに、意気揚々と卒業できるようにしていきたいと思います。友達との残りわずかな日々を惜しむかのように楽しく過ごしている子どもたちを見て、お別れの日「卒業式」を新たな旅立ちの日としてほしいと願っています。 (鈴木)

